2025年度東京藝術大学大学院

音楽研究科（博士後期課程）

入学試験問題

出題意図等

作曲研究領域（作品提出）

- ・「出題意図等」とは、出題意図あるいは標準的な解答例のことです。
- ・「出題意図等」についての問い合わせには対応いたしません。

博士後期課程の入試では、修士課程よりも高い水準の作品および研究成果が求められます。出願に際しては、「二管編成以上の管弦楽作品」と「演奏者2名以上、8名以内のアンサンブル作品（声楽を含む場合も可）」の2曲の楽譜に加えて、修士論文の提出が課されています。

博士後期課程においては、作品および研究に関して、音楽史と音楽理論などを基盤としながら、20世紀後半以降の作曲技法および音楽語法に対する高度な知識と見識、独創的な発想力、さらに修士論文などを通じて培われた研究成果が求められます。

加えて、創作に対する独自の視点やアプローチ、ならびに語法の確立に取り組む姿勢が重視されます。また、博士論文の執筆に向けては、優れた語学力、論理的思考力、そして研究内容を的確に伝えるプレゼンテーションの能力も問われます。